

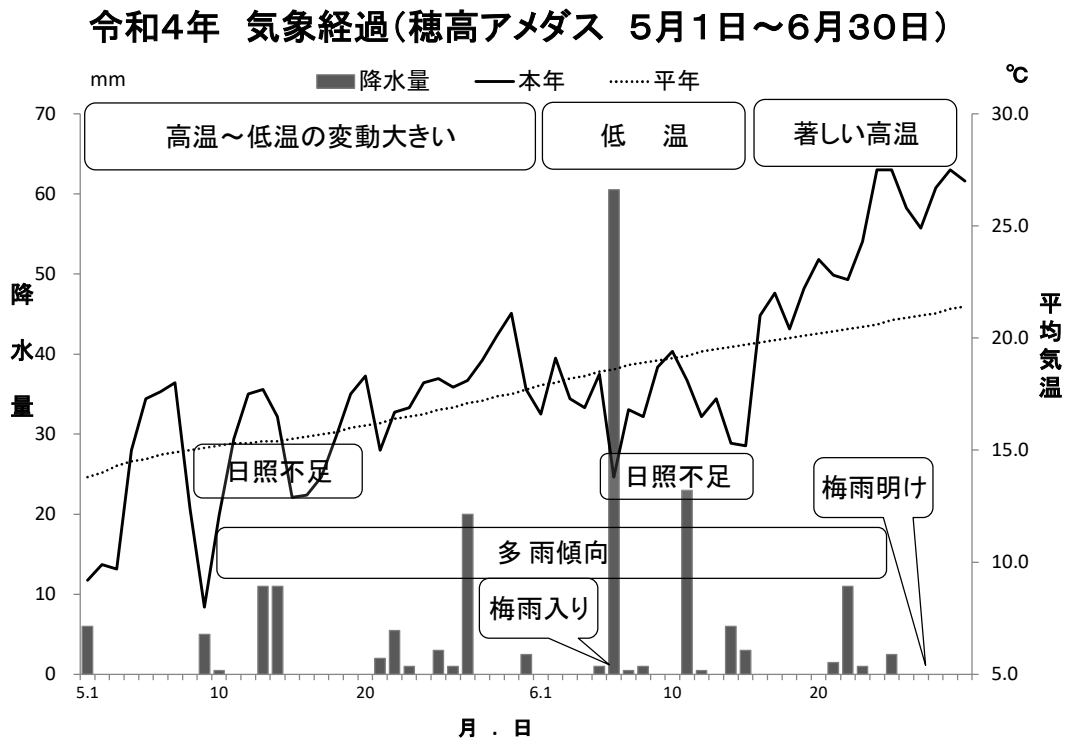
# 令和4年 作物技術普及情報 第11号

## (水稻の生育状況・出穂予測等について)

### 1 気象状況

6月は6月上～中旬は低温でしたが6月下旬は著しい高温になるなど気温の変動の大きい状況でした。今後の気温は平年並～高温が予想されています。

また6月27日に梅雨明けが発表されました。



## 2 水稲の生育状況について

- 6月下旬の著しい高温の影響で生育はかなり進んでいます。6月30日現在のDVIによる水稲生育予測では、あきたこまちで平年より1日早、コシヒカリで3日早と推定しています。今後も高温が予想されているため、さらに早まることが予想されます。

標高別、田植え時期別の生育状況については、別添「松本地域における発育指数（DVI）による水稲生育予測」をご覧ください、追肥作業等にご活用ください。

安曇野市 豊科 標高550m 5月15日植(稚苗)の場合													
コシヒカリ 稚苗	DVI	幼穂長 2mm	幼穂長 10mm	出穂期	あきた こまち 稚苗	DVI	幼穂長 2mm	幼穂長 10mm	出穂期				
		の予測日	の予測日	の予測日			の予測日	の予測日	の予測日				
		本年	0.565	7月14日			7月21日	8月6日	本年	0.668	7月5日	7月12日	7月28日
		平年	0.534	7月16日			7月23日	8月9日	平年	0.664	7月6日	7月13日	7月28日
平年差	3日早				平年差	1日早							

注) 幼穂長2mm = 幼穂形成期

注) 幼穂長2mm = 幼穂形成期

- 7月1日現在の安曇野市の定点圃場の調査では、草丈は平年よりかなり長く、茎数は平年並かやや少ない傾向です。高温の影響で分けつ数は前回より回復しています。

定点圃場のあきたこまちの幼穂長は1mm程度で、7月5日頃に幼穂形成期に入る見込みです。コシヒカリの幼穂形成期もかなり早まる見込みです。

### 7月1日現在 水稲生育状況

	安曇野市豊科 水稲奨決ほ（5月15日田植） （標高：560m）					
	コシヒカリ		あきたこまち		美山錦	
	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )
本年	59	573	56	544	58	479
平年	49	649	50	556	51	493
平年比	120%	88%	112%	98%	114%	97%

### 3 高温障害対策（7月のポイント）について

7月のポイントは「適期中干しによる適正茎数確保」と「黄化させすぎない適期・適量穂肥」です。

現在、最高分けつ期を迎え、畝間の見えないような茎数過剰の圃場も見られます（特に5月前半に田植えされた圃場）。

過剰分けつは、いもち病やモンガレ病の発生や倒伏、籾数過多による品質低下（未熟米の増加。整粒不足）の元にもなりますので、茎数過剰で中干しが未実施の圃場では、早急に中干しをお願いします。

これから穂肥の追肥時期を迎えます。穂揃期に葉色がさめすぎると、胴割米発生の原因にもなります。

別添「松本地域における発育指数（DVI）による水稻生育予測」をご活用いただき、追肥時期を失しない様に適期・適量の穂肥をお願いします。

### 4 葉いもち病、カメムシ対策（畦畔除草）について

7月1日現在の葉いもち病感染好適条件の判定では、感染好適条件の出現は少ない状況です。

梅雨明け後は高温・乾燥が続いているため、いもち病の発生は抑えられていますが、条件が揃えば、感染好適条件から7日程度で、病斑が確認できると思われます。

常発地帯・多発したことのある圃場、苗箱剤の未使用圃場等では、圃場をよく観察していただき、発生状況によっては防除対策を講じてください。

水田畦畔や水田周辺の雑草防除はカメムシ対策に有効です。カメムシの本田への追い込みを防ぐためにも、出穂2週間前までに（遅くとも7月22日頃まで）畦畔除草をすませるようにお願いします。

## 5 大豆の湿害・雑草対策について

現在、小麦後大豆は播種最盛期です。播種後1か月間は、大豆の出芽～初期生育を確保し、効果的な雑草防除に最も重要な時期ですので、下記の点についてご留意ください。

### (1) 湿害対策の徹底

額縁明渠や排水溝等を設置し、湿害対策をしっかりと行うことが、大豆の出芽や初期生育を安定させるのに最も重要です。また湿害対策が干ばつ対策にもつながります。

明渠や排水溝はただ掘るだけでなく、水尻につながっているか・・圃場外に確実に排水ができているか・・を再度ご確認ください。

### (2) 雑草対策について

#### 1) 除草剤処理時の注意点

播種後土壌処理除草剤の散布は必ず実施してください。播種後土壌処理除草剤の効果を引き出すには、除草剤処理時の碎土状況（粗いと効果が劣る）や土壌水分状況（乾きすぎだと効果劣る）が重要なポイントです。

降雨が続いて、播種後土壌処理除草剤の散布ができない場合は、大豆の出芽後に処理可能な除草剤をご検討ください。

#### 2) 除草剤処理後の注意点

播種後2週間位で圃場を観察し、除草剤の効果の確認をお願いします。

特に7月2日頃までに播種された圃場では、土壌が著しく乾燥した状況で除草剤が散布されているので、効果の確認を必ずお願いします。

残草状況によっては、茎葉処理剤の処理をご検討ください。雑草が大きくなりすぎると、茎葉処理剤の効果が十分に発揮されない場合がありますので、タイミングを失しないようにお願いします。

## 6 小麦の収穫状況

収穫作業は順調に進み、小麦の収穫は概ね終了しました。出穂ムラや倒伏で登熟ムラが大きく、収穫や乾燥調整で大変だったかと思いますがご苦労様でした。